

学習内容報告書 フォーマット

学校名	広島県立音戸高等学校
授業者	藤本裕之, 末田ひろみ, 長岡豊樹, 栗木陽子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

音戸町, 倉橋町の海の自然環境についての学習

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な探究の時間

1-4. 単元の概要

音戸町, 倉橋町の美しい海の環境を維持するために, 環境保全に向けた実践について学び, 次の課題について考える。

- ・私たちの海の環境についての課題を発見する。
- ・美しい海を維持するために必要な知識を獲得する。
- ・地元住民の海の環境保全についての意識調査と分析を行う。
- ・「牡蠣・ちりめん」生産者の現状と課題についての調査研究を行う。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

SDGs (14) 豊かな海を守るという視点から, 「牡蠣・ちりめん (イワシ類)」が育つ海の環境を学び, 豊かな海の環境維持について認識を深めるとともに, 「牡蠣・ちりめん」を活用した特産品の特徴について学ぶ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

豊かな自然に恵まれた故郷の海を大切にする郷土愛を持ち, 地域の活性化に積極的に取り組むことのできる生徒の育成を目的とする。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2	<p>・オリエンテーション</p> <p>総合的な探究の時間の学習を始めるにあたって、次の課題について考える。</p> <p>音戸町，倉橋町の海の自然環境について。</p> <p>「牡蠣・ちりめん」を活用した特産品の開発と普及について。</p>	<p><教師の指導></p> <p>昨年度，上級生が学習した実践報告を聞き，地元の活性化を促進していくために，どのような課題があるかを考えていく。</p> <p><主な評価></p> <p>地元の活性化についての課題を考えることができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>令和3年度「総合的な探究の時間」学習成果発表会の資料。</p> <p><外部連携></p> <p>くれ産業振興センター</p>
3 4	<p>・音戸町，倉橋町の伝統的な産業について学ぶ</p> <p>地元の伝統的な産業について調査し特徴を整理する。</p> <p>広島県農林水産局水産課の水産技術担当監 横内昭一氏による講演</p> <p>テーマ「牡蠣・ちりめんの魅力と課題」</p>	<p><教師の指導></p> <p>音戸町，倉橋町の歴史についてインターネット等を活用して，主な産業の特徴と課題を整理させる。</p> <p><主な評価></p> <p>地元産業の特徴と課題を整理し，課題解決について考察することができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>情報端末</p> <p><外部連携></p> <p>広島県農林水産局水産課</p>
5	<p>・倉橋町フィールドワークを行い，地元の伝統的な産業である「ちりめん業界の現状と課題について」学ぶ。</p> <p>くれ産業振興センターの田中耕三氏による講話</p> <p>テーマ「ちりめん業界の現状と課題について」</p>	<p><教師の指導></p> <p>伝統的な産業である「ちりめん業界」について工場見学を行いながら，地元産業の活性化に携わっている田中氏の講話を参考に，「ちりめん業界」の特徴と課題について理解をさせる。</p> <p><主な評価></p> <p>「ちりめん業界」の課題を整理し，課題解決について考察することができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>情報端末，見学企業に関する資料</p> <p><外部連携></p> <p>くれ産業振興センター 有限会社作田水産</p>

6	<p>・地元産業の柱である水産業の発展に欠かすことのできない海の環境について学ぶ。</p> <p>広島県立水産海洋技術センターの飯田悦左氏による講演</p> <p>テーマ「地域の水産業の実態と課題，水産業の発展に必要な海の環境について」</p>	<p><教師の指導></p> <p>水産業の発展に欠かすことのできない海の環境維持について必要性を理解させ，海の環境問題解決に向けてその課題を理解させる。</p> <p><主な評価></p> <p>海の環境問題について現状を把握するとともに，どのような課題があるかを整理することができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>情報端末，講演会に関する資料</p> <p><外部連携></p> <p>広島県立水産海洋技術センター</p>
7	<p>・音戸町フィールドワークを行い，地元の伝統的な産業である「牡蠣業界の現状と課題について」学ぶ。</p> <p>くれ産業振興センターの田中耕三氏による講話</p> <p>テーマ「牡蠣業界の現状と課題について」</p>	<p><教師の指導></p> <p>伝統的な産業である「牡蠣業界」について工場見学を行いながら，地元産業の活性化に携わっている田中氏の講話を参考に，「牡蠣業界」の特徴と課題について理解をさせる。</p> <p><主な評価></p> <p>「牡蠣業界」の課題を整理し，課題解決について考察することができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>情報端末，見学企業に関する資料</p> <p><外部連携></p> <p>くれ産業振興センター 株式会社ナバラ水産</p>
8	<p>・海洋教育について学習した海に関する事柄について，地域の人たちに現状と課題を幅広く理解してもらうために，地元のイベントにおいてクイズ形式で発表を行う。</p> <p>「おんどフェスティバル」クイズ大会 ～海洋に関するクイズを考える～</p>	<p><教師の指導></p> <p>海洋教育で学んだ海に関する学習成果を「おんどフェスティバル」という地元のイベントにおいてクイズ形式で発表し，地域の人たちに現状と課題について理解を深めてもらう。</p> <p><主な評価></p> <p>学習した内容を整理し，地域住民に正しく分かりやすく伝えることができたか。</p> <p><外部連携></p> <p>音戸町まちづくり協議会</p>

<p>9 10</p>	<p>・学習成果の発表とまとめ 学習した成果を発表し，地元産業会の代表，地域住民による講評及び評価を行う 「総合的な探究の時間」のまとめ くれ産業振興センターの田中耕三氏</p>	<p><教師の指導> 海洋教育で学んだことについて，現状と課題に関する整理を行い，課題解決に向けて具体的な考察を行わせる。 <主な評価> 1年間学習したことを整理し，課題解決について考察することができたか。 <使用教材> 情報端末 <外部連携> くれ産業振興センター 音戸町魅力化推進協議会</p>
-----------------	--	---

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

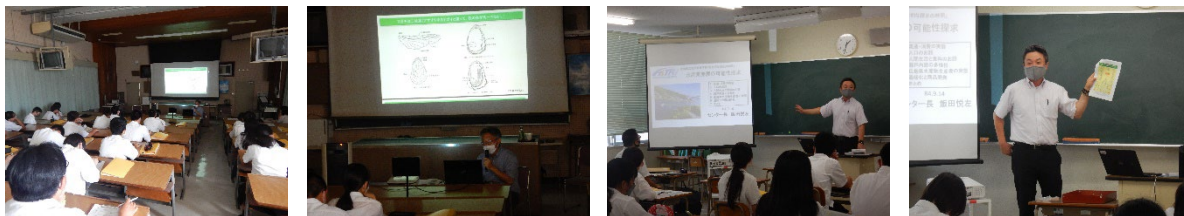
音戸町，倉橋町フィールドワークを行い，地元の伝統的な産業である「牡蠣及びちりめん業界の現状と課題について」学ぶ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 倉橋町でのフィールドワークを実施（7月20日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有限会社作田水産を見学し，ちりめん業界の現状と課題について学ぶ。 ・有限会社作田水産を見学しながら，くれ産業振興センターの田中耕三氏より「呉市におけるちりめん業界の現状と課題について」講話を実施してもらう。  	<p><教師の指導・支援></p> <p>1のフィールドワーク実施にあたって，前もって，広島県農林水産局水産課の水産技術担当監 横内昭一氏より，「牡蠣・ちりめんの魅力と課題」というテーマで講演を実施していただき，地元の伝統的な産業である「牡蠣・ちりめん」について事前学習を行う。</p> <p>2のフィールドワーク実施にあたって，前時に，広島県立水産海洋技術センターの飯田悦左氏より，「地域の水産業の実態と課題，水産業の発展に必要な海の環境について」というテーマで講演を実施していただき，地元の伝統的な産業である「牡蠣・ちりめん」について事前学習を行う。</p>
<p>2 音戸町でのフィールドワークを実施（11月9日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ナバラ水産を見学し，牡蠣業界の現状と課題について学ぶ。 ・株式会社ナバラ水産を見学しながら，くれ産業振興センターの田中耕三氏より「呉市における牡蠣業界の現状と課題について」講話を実施してもらう。  	<p><評価の視点></p> <p>「牡蠣・ちりめん業界」の課題を整理し，課題解決について考察することができたか。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・生徒は倉橋町、音戸町のフィールド学習を行う前に、事前学習として広島県農林水産局及び広島県立水産海洋技術センターより呉市の伝統的な産業について学習をおこなっており、その結果、課題意識を持ってフィールドワークに参加することができた。



- ・フィールドワークでは、実際に「ちりめん（イワシ類）及び牡蠣」の成長から加工に至る現場を見学しながら、くれ産業振興センターの田中耕三氏による、呉市における伝統産業である「牡蠣及びちりめん業界」について講話を頂くことで、それぞれの業界についての特徴と課題について深く学ぶことができた。

4. 今後の課題

SDGs（14）豊かな海を守るという視点から、フィールドワークの事前学習では、広島県農林水産局及び広島県立水産海洋技術センターによる講演で、海の環境問題についても専門的な話をしていただいた。瀬戸内海の豊かな資源をどのように地域の発展に活かしていくか、より考察を深める必要がある。

また、フィールドワークの企業見学で学習した「牡蠣・ちりめん業界」の特徴と課題を地域の活性化にどのように関連付けて考察を深めていくかについて、「総合的な探究の時間」に限定するのではなく、他教科での学習とも関連付けながら、いかに考察を深めていくかを考える必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・フィールドワークの前時に行った事前学習の要点を整理しておく必要がある。
- ・「牡蠣・ちりめん業界」の見学は、生産から加工までそれぞれ季節的な制約があるので、その点を考量しながら学習計画を考える必要がある。
- ・倉橋町のフィールドワークでは、バスによる移動が必須となるので、事前の必要な措置を講ずる必要がある。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。